

馮學敏攝影作品集

PHOTOGRAPHS BY FENG XUEMIN

四川·熊貓的故鄉

HOMELAND OF PANDA: SICHUAN

四川出版集團 四川美術出版社 SICHUAN PUBLISHING GROUP SICHUAN FINE ARTS PUBLISHING HOUSE



图书在版编目(CIP)数据

冯学敏摄影作品集：四川·熊猫的故乡/冯学敏著.
成都：四川美术出版社 2009.7
ISBN 978-7-5410-3918-8

I. 冯… II. 冯… III. ①摄影集—中国—现代②四川
省—摄影集 IV. J421

中国版本图书馆CIP数据核字(2009)第109492号

冯学敏摄影作品集 四川·熊猫的故乡

责任编辑 林雪红
责任校对 徐 红
责任印制 曾晓峰
出版发行 四川出版集团·四川美术出版社
地 址 成都市三洞桥路12号(邮编：610031)
成品尺寸 275mm×285mm
印 张 11
图 幅 111幅
字 数 50千
制 作 华林平面设计
印 刷 四川新华印刷厂
版 次 2009年7月成都第1版
印 次 2009年7月成都第1次印刷
书 号 ISBN 978-7-5410-3918-8
定 价 260.00元

■ 版权所有·翻印必究 ■

地址：四川·成都市三洞桥路12号
电话：028-87734383 邮编：610031
如需购本书请与本社发行部联系

馮學敏攝影作品集

PHOTOGRAPHS BY FENG XUEMIN

四川·熊貓的故鄉

HOMELAND OF PANDA: SICHUAN

四川出版集團 四川美術出版社 SICHUAN PUBLISHING GROUP SICHUAN FINE ARTS PUBLISHING HOUSE



ISBN 978-7-5410-3918-8



9 787541 039188 >

定价：260.00元

馮學敏攝影作品集

PHOTOGRAPHS BY FENG XUEMIN

四川·熊貓的故鄉

HOMELAND OF PANDA: SICHUAN

四川出版集團 四川美術出版社 SICHUAN PUBLISHING GROUP SICHUAN FINE ARTS PUBLISHING HOUSE

四川·熊猫故乡

冯学敏



序

中華文化燦爛輝煌，中華風物千姿百態。多年來，旅日著名攝影家馮學敏先生仿佛一位不知疲倦的朝聖者，在祖國寬廣博大的土地上虔誠地行走着，以拳拳赤子之心和藝術家特有的審美眼光，執着地審視着中華文化，記錄着中華風物，將他的所遇所見所思所感幻化成一個個精彩的畫面，並將之傳遞給海外的讀者和觀眾。其心之赤誠，其情之熾熱，其志之堅毅，令人敬佩和感動。

攝影是一門美的藝術，攝影家是美的發現者和傳播者，而馮學敏先生無疑是其中的翹楚。十多年來，他不辭艱辛地游走于中國和海外，廣泛吸納不同文化的審美觀，轉而反觀他的故土家園，自然別有一番眼界。他先後推出的幾本攝影集《長白參的故鄉》、《紹興酒的故鄉》、《景德鎮瓷的故鄉》、《普洱茶的故鄉》、《貴州·油菜花的故鄉》，分別從一些最具典型意義的中國景物出發，以小見大，見微知著，從而捕捉和表達浩大的中華之美、家園之美、民族之美。

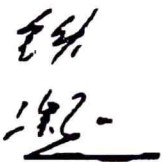
在新年來臨之際，我又欣喜地拜讀了馮先生的新作《四川·熊貓的故鄉》，更有一番驚喜和感動。這一次，馮先生將他的鏡頭聚焦到四川——全世界都曾從那場巨大的災難中知道了的遠處中國西南腹地的『天府之國』，那個幾千年來被中國人視為天堂一般美麗的地方。二零零八年五月十二日，一場千年未遇的八級地震肆虐地摧殘了四川，讓世界為之震驚，也深深地震痛了馮先生的心靈。馮先生在極短的時間裏，數次前往四川，以滿腔的熱情和出眾的才情迅速推出這本攝影集。與眾不同的是，這本集子並沒有去展示震後的瘡痕，而是集中展現四川最能撼動人心的驚世之美：絕美的生靈，壯美的山川，秀美的人民，以及蘊含其中的生生不息的精神之美。這對災後四川無疑是一篇深情而無聲的大愛宣言。

美是有意義的形式。我相信馮學敏先生將這本集子取名為『熊貓的故鄉』自有其深意。千萬年來，作為大熊貓賴以棲息的最後的家園，四川這片土地溫柔地呵護着這世間最可愛的精靈。居住在這片土地上的人們與其和諧相處，共同詩意地栖居，這是一派何等祥和的景象。馮先生用他的作品告訴世界：中國有一個奇美的地方，那裏是永遠的香格里拉，因為那裏是熊貓的故鄉；天府之國震前震後同樣生機盎然，因為那裏的人民有着不屈向上的精神。

正如大熊貓是傳播友誼、和平和愛的使者，馮學敏先生也是傳播中華大美的使者。他在中國的大地上行走，懷揣着對家園的眷戀和自豪，他真誠對待攝影藝術，並將這艱辛實踐看作終生財富。我為此心生敬意！

中國作家協會主席

二零零九年二月十四日



序

中国文化は燦爛と輝き、中国風物は千姿百態です。長きに亘り、日本在住の著名なる写真家馮学敏先生は、まるで疲れを知らぬ巡礼者の如く、祖国の広大な土地を巡り、赤子のような純粋な芸術的審美眼を以って、中国文化を見つめ、中国風物を記録しつづけ、彼の出会いとところ、見るところ、思うところ、感じるところ全てが一枚の鮮やかな写真となり、海外の多くの読者に伝わって行くのです。その素直な心、その情熱、その毅然な様子に敬服と感動を覚えます。

撮影は一つの美的芸術です。写真家は美の発現者であり、伝播者であります。馮学敏先生はまさにその中でも傑出しています。十数年来、彼は不屈の精神で中国や海外を巡り、様々な文化を広く吸収し審美眼を養い、そして故郷に戻って来て、自然へ開眼したのです。彼は前後していくつかの写真集《長白参の故郷》、《紹興酒の故郷》、《景德鎮磁器の故郷》、《雲南・普洱茶の故郷》、《貴州・菜の花の故郷》を出版しました。それぞれ、中国のクラシカルな情景から出発し、ミクロからマクロへ、少しのことから全てを見通し、広大な中国の美、自然の美、民族の美を捉え、表現しました。

新年を迎えるにあたり、馮学敏先生の新作《四川・熊貓的故郷》を拝見できたことを嬉しく思います。また大変驚きと感動を得ました。今回、馮学敏のレンズは四川にフォーカスしています―世界中があの大な震災をきっかけに中国の南西内陸部に「天府の国」、つまり数千年来中国では天国のような美しい国と言われている場所があることを知ったのです。2008年5月12日、千年来起こったことの無い、震度8の大地震が四川を襲い、世界中が驚愕しました。馮学敏先生の気持ちも深く傷ついたことでしょう。馮学敏は本当に短い期間で、何度も四川を往復し、大きな情熱と傑出した才能で、この写真集の出版を急ぎました。この写真集の優れたところは、震災後の悲惨さを写したのではなく、四川の最も感動する人の驚くべき美を表現しているところにあります。美しき魂、壮大な山河、優れた人々、そこにある溢れんばかりの活力ある精神の美を写しだしたのです。これはまさに、一篇の愛情ある四川への声無き応援歌です。

美とは意味ある形式です。馮学敏先生がこの写真集を「熊貓的故郷パンダの故郷」と名づけたのには深い意味があると私は思っています。古来より、パンダの生息する最後の楽園として四川の土地はこの世界から愛されている生き物を温かく守って着ました。またこの土地に住む人々も、平和に共存しており、他では見られない光景です。馮学敏先生は作品を通してこう訴えたかったのだと思います。中国には珍しくも美しい場所がある、永遠のシャングリラ、それはパンダの故郷。天府の国と言われる四川は震災後も震災前と同様生き活きとしています。そこに住む人々の不屈の精神の賜物でしょう。

パンダは友好、平和、愛の使者であるように、馮学敏先生も中国の美の使者です。彼は中国の大地を巡り、母国への愛情と誇りを携え、芸術を真摯に撮影しています。この不屈の試みは終生の財産と言えるでしょう。ここに心よし敬意を表します。

PREFACE

China is a nation with glorious culture and various resources. Mr. Feng Xuemin, an emigrated Chinese photographer, walked across this vast land while sensing and recording the cultural elements with his unique view and pure heart. He converted his travelling experience into fantastic pictures and exhibited them before overseas readers and viewers. We are truly moved by his faithfulness, enthusiasm and persistence.

Photography is an art of beauty. A photographer is the discoverer and preacher of such art. Undoubtedly, Mr. Feng is a genius in the field of photography. For more than a decade, he travelled both home and abroad, collecting the aesthetic views of different cultures. This album has gained an unusual view because he turned his focus onto his motherland. He has already published several photo albums successively, such as "The Homeland of Wine: Shaoxing", "The Homeland of Ginseng: Changbai Mountains", "The Homeland of Porcelain: Jingdezhen", "The Homeland of Puer Tea: Yunnan ", and "The Homeland of Rape Flower: Guizhou". These albums not only described the typical Chinese sceneries, they also presented the beauty of his home, his nation and his country.

On the arrival of the new year, I browsed Mr. Feng's fresh works, "Home of Panda: Sichuan" with a feeling of surprise and passion. Mr. Feng focused his lens on southwest province of Sichuan, the land embracing wonderful sceneries and abundant resources, which has drawn global attention since the devastating catastrophe. On May 12, 2008, an unprecedented earthquake measuring 8 on the Richter scale hit Sichuan violently, and shocked both the world and Mr. Feng's soul.

Mr. Feng rushed to Sichuan for several times in a short period and worked out the album with his true feelings and outstanding talents. Different from other photographs of that time, his album concentrated on the exclaiming beauty instead of the debris left by the earthquake. It presented to us the immortal beauty of the human mind through showing the beauty of living creatures, mountains and rivers, and local people. Clearly, it is a declaration of passion and love on Sichuan after the earthquake.

Beauty is an art style full of meanings. I have no difficulty in understanding Mr. Feng's profound meaning of naming this album as "Home of Pandas". For thousands of years, as the last habitat of giant pandas, the land of Sichuan cared for these lovely creatures. The local residents are coexisting with the animals, and forming a harmonious scene of ecology. Mr. Feng is informing the world that there is a paradise in China, and it is the everlasting Shangrila. It is the home of pandas. "The Land of Abundance" is still energetic, no matter before or after the earthquake. The people have a strong will that can never be defeated.

Panda is the symbol of friendship, peace and love, while Mr. Feng Xuemin is the preacher of the grand beauty of China. He crossed the broad land with his love and pride for home. He respects his craft and treasured it. Here I pay my respect to him from the heart.

Tie Ning
Chairman of Chinese Writers' Association
Feb. 14, 2009

自叙

走進四川，拍攝四川。以一名旅居海外多年的游子身份，向世人推出一本四川攝影集，通過照片來介紹其悠久深邃的歷史文化和斑斕多姿的人文風物，這是我的中國西部文化攝影系列的第四個專題。這個計劃醞釀已久，隨着『五·一二』汶川大地震的到來而提前了——對我而言，這是一項使命。

四川，在中國的人文版圖上地位極其重要。那裏山川秀麗、人物俊美、物產豐饒、民風淳樸，自古就是上天垂青的人文、自然勝地。自兩千多年前秦開巴蜀以來，『水旱從人，不知饑饉，時無荒年，天下謂之天府』。

山川的險峻雄偉，造就了四川人的剛強與豪放；氣候的溫潤潮濕，孕育了四川人的柔韌與溫情；文明的久遠積澱，給四川人帶來了富于人情味的機智、幽默和樂觀。四川是文雅的，四川又是世俗的，這種俗中見雅的文化傳統表現在四川人物質和精神生活的各個層面，使四川的特色和個性鮮活靈動。同時，四川人口的多民族成分，更使巴蜀文化七彩斑斕。四川具有一種魔力，能讓任何一位初次踏上這片土地的人油然而生親近之感，發自內心地喜愛她，留戀她。我也像眾多外來游客一樣，由衷地熱愛上了這片廣袤的大地。

『五·一二』汶川大地震的噩耗傳來，我感到極度的震驚和悲傷，我迫切地想知道震後的四川境況如何？震後的四川是否依然美麗？于是，二零零八年七月、十月、十二月，我風塵赴赴地再次踏上了災後的四川旅途，走訪了川東、川南、川西、川北等地區，行程六千公裏，用照相機鏡頭記錄下大地震後四川的人文景觀和四川人民的堅強、活力與生生不息。

對我而言，這又是一次挑戰。有人說，四川是『攝影家的天堂、畫家的地獄』。四川的自然山水之美得天獨厚，造化鐘靈，占盡天下風流，悠久的巴蜀古文明史又賦予四川獨特而深厚的風俗傳統和人文精神。要想全面展示她的精華和神韻，實在不是一本小冊子就能完成的。為此，我努力從新的角度和視野出發，觀察我認為最能體現四川特色、最能觸動人心的地方。我的鏡頭聚焦到四川的九寨仙境、小鎮茶館、丹巴藏寨、鬆州古城、稻城神山、蜀南竹海，而首當其選者，當推集萬物之靈和萬千寵愛于一身的中國『國寶』——大熊貓。

我拍大熊貓，鐘愛于雍容可掬的憨態；我拍三星堆，驚詫于天外來客般的神奇瑰麗；我拍稻城香格里拉，憧憬于人類精神向度的超越；我拍老茶館，鐘情于四川人怡然自得的生活狀態；我拍少數民族，陶醉于多元文化共存共榮的和諧景象……這一切，匯成了我眼中的四川，也匯成了我心中的四川。我渴望將她推介紹給世界，我渴望告訴世上所有善良的人們：四川依然美麗！

四川就如一部濃縮的中國自然史、社會史和文化史。她的自然深厚廣博、多姿多彩；她的文化吸納性、包容性和豐富性如海綿般巨大；她展現了如詩如畫的生命之歌和至真至善的人性之美，無可比擬。我深深沉迷其中，我願在有生之年不斷延續這份情緣，不斷地走進四川，不斷地品味四川。

四川是一本大書，也是一本奇書，不同的人從不同的角度去審視，都會有不同的感悟。我祇是將自己的體會袒露出來，與大家分享。祈願閱讀這本集子的人們能從中獲得共鳴。

在此，我要深深感謝長期以來對我關心和扶助的全國人大常務委員金炳華先生；感謝中國作協主席鐵凝女士特地為此攝影集撰寫《序》文；感謝四川的周孟棋、王建軍、遲阿娟、于寧、楊萬春、王駿飛、田曦、徐紅等衆多好朋友和日本國尼康公司在我創作采風和畫冊出版全過程中所給與的熱情、慷慨和真摯的幫助。

馮學敏

二零零九年二月五日春節于東京

二 挨拶

四川に入り、四川を撮る。海外暮らしの長い一人の旅人の身である私が、一冊の四川写真集を世に送り出し、写真を通して、悠久かつ奥深い歴史文化や多彩な人物風景を紹介する、これが私にとっての一連の中国西部文化撮影における第4のテーマでありました。これは長い間温めてきた企画で、「5・12」四川大地震が起こったことで加速されました。私にとって、これは使命なのだ。

四川は中国の人文學上中重要な位置を占めています。秀麗な山河、優れた人物、豊饒な物産、純朴な民族、古来より天から授かった人文、自然の景勝地です。二千年前に秦が巴蜀を開いてから、「水旱从人、不知饑饉、時无荒年、天下謂之天府」。

（水が人に見方し、飢饉を知らず、凶作の時無く、天然資源の豊富な土地）と言われて来ました。

険しく聳え立つ山河が四川人の強く豪放な気質を生み、温暖湿潤な気候が、四川人の柔和な温情を育んだのです。文明の悠久な蓄積が、四川人の人情味に富んだ機智やユーモア、おらかさをもたらしました。四川は雅であり、また世俗的でもあります。俗の中に雅がある伝統的な文化表現が、四川人の物質と精神世界の各層に見られます。それが、四川人の特色と生き活きた個性を作り出しているのです。同時に、四川は多民族で構成されており、それがまた絢爛多彩な巴蜀文化を創っているのです。四川には一種の魔力があります。どんな人でもこの土地に一歩足を踏み入れたら自然と親近感が沸いて来て、好きになり、恋しくて忘れられなくなるものです。私もまた多くの訪問者と同じように、この広大な土地を心から愛してしまいました。

「5・12」四川大地震の知らせは、極度な驚きと悲しみでありました。まず思ったのは震災後の四川はどうなってしまったのか？ということでした。震災後の四川はまだ依然として美しいのか？と。そして、2008年7月、10月、12月と、私は再び震災後の四川の旅へと向かったのです。川東、川南、川西、川北などの地区を訪れ、行程にして6000キロメートル、カメラのレンズに震災後の四川の人文風景や四川の人々の強さ、沸き起こる活力を記録しました。

私にとって、これは挑戦です。四川は「写真家の天国、画家の地獄」と言われています。四川の自然山水の美は独特で、造形は美しく、優れており、悠久の巴蜀古代文明史が四川独特の温かみのある風俗伝統と人文精神を作り上げています。その精神や神秘全てを表現しようとしても、一冊の本ではとても網羅できるものではありません。ですから、私は新しい角度と視野から出発し、四川の特色を最も体現でき、最も人の心に触れることができる場所を探しました。私のレンズがフォーカスしたのは、四川の九寨仙境、小鎮茶館、丹巴藏寨、松州古城、稻城神山、蜀南竹海という場所です。そしてまず、最初を選んで被写体は、世界中から愛されている中国の「国宝」——パンダです。

私はパンダを撮影し、そのかわいらしくあどけない様子を寵愛し、三星堆を撮影し、まるで宇宙人のようなその奇妙な美に驚き、稻城シャングリラを撮影し、人類精神の超越に憧憬し、老茶館を撮影し、四川人の自然と密着した生活に感じ入り、少数民族を撮影し、多元文化共存共栄の平和な情景に陶醉し……こうした一切が、私の目の中の四川、私の心の中の四川を形成して行つたのです。私は四川を世界に、世界のあらゆる善良な人々に伝えたい、四川は依然美しいと！

四川は中国の自然史、社会史、文化史を凝縮しています。その自然は奥深く広く、多彩であり、その文化の収容力、包容力、豊かさは海綿のように柔軟で、それはまるで詩や絵が語る生命の歌や真実善良な人間の美を表現しており、他に類を見ないものです。私はその中に深く浸って、永遠にこの情緒の中に生き、四川を巡り、四川を味わいたいと願っています。

四川は一冊の大書です、しかも珍しい本です。様々な人が様々な角度から観察し、様々な感想を持つことができるのです。私は自分の持ち味を出し、皆さんと共有できればと思っています。この写真集が多くのの人々から共感をいだだけることを願ってやみません。

最後に、長きに亘りご協力を賜りました中国全人大常務委員金炳華先生、中国作家協会鉄凝主席に深く感謝申し上げます。また、四川の周孟棋、王建军、遲阿娟、于寧、楊万春、王駿飛、田曦、徐紅の各氏など多くの朋友の皆様および日本国株式会社ニコンに、今回の私の創作から写真集出版までの全過程において情熱、気概、真摯なるご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

馮学敏

2009年2月5日春・東京にて

Author's Note

Entering Sichuan and presenting Sichuan. As an adventurer who is constantly abroad, it has always been my dream to present to the world through my photography the profound culture and the colorful humanism of Western China. This album will be the fourth in my series of Western Chinese Culture. I have planned for such an album for a long time and due to the Wenchuan Earthquake on May 12, 2008, I chose to carry it out in advance. To me, it became a mission and a commitment that I must fulfill.

Sichuan holds a great significance in the Chinese humanist history. It has been a resort favored by nature with its beautiful sceneries, gifted intellectuals, rich resources, and friendly people. Since its first connection with the inner land of China about 2,000 years ago, Sichuan has been endowed with favorable climates and abundant harvests.

The steep mountains gave the local people strength and bold and unconstraint character, while the favorable climate made the local people soft and gentle with great kindness. The profound civilization gave wisdom, humor and optimism to the local people. Sichuan is both civilized and emotional. These two elements are interdependent, affecting every aspect of natives, both physically and mentally, and creating the unique characters of Sichuan people. In addition, the feature of multiethnic population added more highlights and dynamics to the local culture. All these give Sichuan a kind of magic, which arouse familiarity and fondness among all visitors. Like other travelers, I fell in love with this majestic land.

When I heard the news of the destructive earthquake, I felt greatly shocked and sorrowed. I was eager to know the aftermath—is Sichuan still attractive? In July, October and December of 2008, I rushed for Sichuan, travelled around and covered a route of more than 6,000 kilometers, focusing on the life there as well as people's energy and strength.

However, the trip was also a challenge to me. As one saying goes, Sichuan is the paradise for photographers, but hell for painters. Truly, Sichuan owns both magnificent landscapes and profound humanism, so it is difficult to capture both of them in such a booklet. Thus, I turned my lens to the objects that will reflect local features and evoke wonderful emotions. They are the Jiuzhaigou Fairyland, Teahouse in small town, Tibetan village in Danba, Old City Songzhou, Holy Mountain in Daocheng, Bamboo Forest in southern

Sichuan, and the most beloved treasure of China, Giant Pandas.

I included Pandas into my lens because of their beloved and cute appearance. I included Sanxingdui Relics into my lens because I was moved by its mystery and miracle. I included Old Teahouse into my lens because I truly enjoy the sense of leisure life of the local people generated from the teahouses. I included into my lens the minor nationalities because I was so deeply attracted by the harmonic and prosperous society featuring the coexistence of different cultures and nationalities. I set my lens to Daocheng Shangrila because I envy so much its exceeding human thoughts. All of the above formed a vivid Sichuan in my eyes and thoughts. I am eager to recommend it to the world. I am eager to inform all the good-hearted people that Sichuan is still beautiful!

Sichuan is a concentrated history of Chinese nature, society and culture. I enjoyed Sichuan due to its profundity and diversity, its inclusiveness and harmony, and what's more, the picturesque sense and incomparable humanity. I wish I could extend my sense with Sichuan, comprehending and sensing it continuously.

Sichuan is an encyclopedia and a great artwork. Everyone will have his or her own judgment and reflection because of different views. I want to display my feeling and share my enjoyment with our readers this magic land. I hope I can find sympathy from the readers of this album.

Finally, I would like to extend my most sincere gratitude to Mr. Jin Binghua, who is the member of the Standing Committee of NPC, Vice-Chairman of the Education, Science, Culture and Public Health Committee of NPC, for his tremendous help and support. I would like to express my most sincere thanks to Ms. Tie Ning, Chairman of Chinese Writers' Association, who writes the preface to this album. I would also like to thank my friends from Sichuan, Zhou Mengqi, Wang Jianjun, Chi Ajuan, Yu Ning, Yang Wanchun, Wang Junfei, Tian Xi, Xu Hong and many others, Nikon Corporation, Japan for the warm, generous, and helpful assistance given to me during my production and publishing.

Feng Xue Min
Feb.5th ,2009, Spring, Tokyo



中國四川，古稱巴蜀，是古代蜀人和巴人的發祥地，一個江山如畫、文化繁盛的地方。她集悠悠五千年的煥然文采，厚重、深邃、神秘；她匯奇情異彩的風物人情，絢爛、多彩、迷人。她有九寨黃龍的人間仙境，有佛國仙山的一派莊嚴，有青城山的天下之幽，有都江堰的曠世之功。

我深深迷戀四川、熱愛四川、崇敬四川。原因不僅在於她良好的自然生態環境、悠久的歷史文化所融成的無窮魅力，更在於她歷經浩劫之後表現出的那份從容、淡定，在巨大災難面前煥發出感動世界的人性光輝。

